

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児支援教育特論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学期及び曜時限	後期	教室名	1003教室
担 当 教 員	高田 寛彬・岡 耕平				
実務経験と その関連資格	【実務経験】 理学療法士として8年間、急性期病院に勤務。 児童発達支援・放課後等デイサービスへの療育支援、児童養護施設へ職員への講義、教育活動とともに子どもの支援に関わる。また、早期療育への取り組みと小児科医と連携し実施。 【関連資格】 認定理学療法士(運動器)、修士号(健康科学)取得。 両立支援コーディネーター取得し、企業の健康経営、心身活動の支援を実施。				
《授業科目における学習内容》					
小児の神経生理学について学び、臨床での活用方法について検討することができる。					
《成績評価の方法と基準》					
レポート 80% 出席20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
配布資料					
《授業外における学習方法》					
解剖・運動・生理学の基礎を理解することがとても重要です。基礎科目の復習をしておきましょう。					
《履修に当たっての留意点》					
言葉が難しいことも多いですが、一つ一つを理解し取り組みましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	小児の見立て・支援方法を理解することができる。	配布資料		
	各コマにおける授業予定	発達支援法Ⅰ			
第2回	授業を通じての到達目標	小児の見立て・支援方法を理解することができる。	配布資料		
	各コマにおける授業予定	発達支援法Ⅱ			
第3回	授業を通じての到達目標	小児の見立て・支援方法を理解することができる。	配布資料		
	各コマにおける授業予定	発達支援法Ⅲ			
第4回	授業を通じての到達目標	小児の見立て・支援方法を理解することができる。	配布資料		
	各コマにおける授業予定	発達支援法Ⅳ			
第5回	授業を通じての到達目標	小児の見立て・支援方法を理解することができる。	配布資料		
	各コマにおける授業予定	発達支援法Ⅴ			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	小児の見立て・支援方法を理解することができる。	配布資料	
	各コマにおける授業予定	発達支援法Ⅵ		
第 7 回	授業を通じての到達目標	小児の見立て・支援方法を理解することができる。	配布資料	
	各コマにおける授業予定	発達支援法Ⅶ		
第 8 回	授業を通じての到達目標	小児の見立て・支援方法を理解することができる。	配布資料	
	各コマにおける授業予定	発達支援法Ⅷ		
第 9 回	授業を通じての到達目標	様々な職種における支援方法を学ぶことができる。		
	各コマにおける授業予定	各専門職からの支援提示		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	様々な職種における支援方法を学ぶことができる。		
	各コマにおける授業予定	各専門職からの支援提示		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	様々な職種における支援方法を学ぶことができる。		
	各コマにおける授業予定	各専門職からの支援提示		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	様々な職種における支援方法を学ぶことができる。		
	各コマにおける授業予定	各専門職からの支援提示		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	様々な職種における支援方法を学ぶことができる。		
	各コマにおける授業予定	各専門職からの支援提示		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	様々な職種における支援方法を学ぶことができる。		
	各コマにおける授業予定	各専門職からの支援提示		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	様々な職種における支援方法を学ぶことができる。		
	各コマにおける授業予定	各専門職からの支援提示		